

令和6年10月定例会会議録

(令和6年10月28日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 10月定例会会議録

【開催日】	令和6年10月28日（月）
【場所】	八代市役所本庁4階 403会議室
【出席者】	中 勇 二 教育長 渡 邊 裕 一 教育委員 早 田 蛍 教育委員 澤 村 互 寛 教育委員 丸 山 智 子 教育委員
【出席職員】	田 中 智 樹 教育部長 下 津 恵 美 教育部次長 松 本 康 祐 教育部次長 松 本 豊 教育政策課長 加 賀 真 一 学校教育課長 稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長 泉 宣 孝 生涯学習課長 高 嶋 宏 幸 教育サポートセンター所長 上 角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長 植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長 本 田 正 悟 文化振興課長補佐 緒 方 義 久 教育政策課主幹兼ICT教育推進係長 山 内 淳 司 文化振興課参事
【事務局】	萩 本 誠 子 教育政策課教育政策係長 浦 本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

- ① 八市教委議第23号 八代市外国語指導助手の任用に関する規則の一部改正について
- ② 八市教委議第24号 八代市指定有形文化財の指定について

<報告案件>

- ① 報告第16号 八代市議会令和6年9月定例会について
- ② 報告第17号 令和6年度9月補正予算の概要について
- ③ 報告第18号 学習支援ソフトの今後の方向性について

1. 開会 (午後2時00分 開会)

2. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

3. 議題

＜八市教委議第23号＞ 八代市外国語指導助手の任用に関する規則の一部改正について

加賀学校教育課長 条文の記載内容を熊本県招致外国青年任用規則と合わせるものである。また、特別休暇の規定において不足事項があったため、追加するものである。

渡邊教育委員 改正に至った経緯は、県の任用規則が改正されたことによるものだろうか。

加賀学校教育課長 県の規則が改正されたことにより、改正したものである。

渡邊教育委員 A L Tの現状を確認したい。人数については十分足りているのだろうか。

加賀学校教育課長 現在12名である。コロナ等で赴任できない時期もあったが、現在は各学校で十分な配置ができています。幼稚園にも月1回程度訪問しており、必要回数分だけ確保できていると認識しています。

澤村教育委員 各学校でのA L Tの活用状況はどうだろうか。

加賀学校教育課長 学習指導要領の改訂により、小学校3・4年生にも外国語の授業が入った。ネイティブな言語を話すA L Tの存在は大きいと考える。打合せの時間がなかったため、今回、勤務時間について午前9時からを午前8時からに改め、打合せの時間が取れるようにした。

【八市教委議第23号 承認】

＜八市教委議第24号＞ 八代市指定有形文化財の指定について

本田文化振興課長 補佐 下記の文化財について、八代市文化財保護条例第4条第2項の規定に基づき所有者の同意を得たうえで、同第3項の規定に基づき八代市文化財保護委員会に対して諮問を行ったところ、指定するよう建議がなされたため、同条第1項の規定により、八代市指定有形文化財の指定をする必要があるものである。

むぎしましろあとしゅつどひらやぐらけんちくぶざい
●麦島城跡出土平 櫓 建築部材

山内文化振興課参 資料により説明

事

澤村教育委員

資料にある写真は発掘された時の写真であると思うが、こんなにしっかり残っているのに驚いた。地震があったことで、400年も前の部材が残ったということは貴重であると思う。日本の国宝級のお城で当時のまま残っているものがあるが、改修等を経ているので、できた当時のまま残っているというのは、工法や部材など当時のことが分かる貴重な資料だと感激している。

丸山教育委員

指定後は保管の状態などに変化はあるのだろうか。

山内文化振興課参事

今年8月までは坂本町の収蔵庫に保管していたが、収蔵庫の移転に伴い、旧鏡保健センターに保管している。今後は、博物館の再オープンや県立美術館、図書館の展示に貸出しを行いたい。また、上位指定を目指して調査を進めたいと考える。

【八市教委議第24号 承認】

<報告第16号> 八代市議会令和6年9月定例会について

田中教育部長

9月定例市議会においては、5人の議員から次の6件の質問があった。資料により説明

① 太田 広則 議員

・学校給食費の公会計化について

② 谷口 徹 議員

・八代市立中学校部活動の地域移行に関する取組について

③ 中山 諭扶哉 議員

・近年の気候変動に伴う本市の対応について
・入札制度について

④ 大倉 裕一 議員

・蛍光灯製造中止に伴う本市のLED化の対応について

⑤ 金子 昌平 議員

・市立幼稚園再編について

早田教育委員

中学校部活動の地域移行について、今後、各団体や中学校との連絡調整役として3名のコーディネーターを配置するところがあるが、どのような方々がコーディネーターになるのだろうか。また、スクールバスの運行業務について、現在、スクールバスが教育関係以外で活用されているところはあるだろうか。

- 加賀学校教育課長 コーディネーターについて、1名は総括コーディネーターでスポーツ協会と関連の団体の方、あと2名は中学校の運動部、文化部活動に精通された方々を選んでいるところである。
- 田中教育部長 スポーツ協会が運営の母体となっていくこと、また、いろいろな種目の協会の構成を持っているので、事務局に総括コーディネーターとしてお願いしている。
- 松本教育政策課長 スクールバスについて、教育関係以外での活用としては、祭りにおいて駐車場から会場までの送迎など、土・日のイベントに使用している。また、民間や市有施設のプールを使用してプールの試験事業をしているが、その際の児童の送迎に使用したり、校外学習など、登下校以外でも使用している。
- 丸山教育委員 中学校部活動について、部活動がない他の中学校の生徒が拠点校の部員となって活動する「拠点校部活動」の導入を検討とあるが、現在も生徒数が少ない学校は、一緒に部活動をしていると伺ったことがある。それとは違うのだろうか。
- 加賀学校教育課長 現在でも合同部活動をしているところはある。それぞれの学校を通して連絡調整をしながら活動をしている。今後はそのような部が増えてくるので、区を設けて、その範囲内で合同で活動するように示したいと考える。
- 澤村教育委員 学校給食費の公会計化について、いつから始める予定だろうか。
- 松本教育政策課長 開始するとなった場合、システム導入や仕入れ等の検討など、2年程の準備期間が必要であるため、早くても令和9年度以降と考える。
- 澤村教育委員 導入されると学校現場は助かると思う。課題として収納率の低下が懸念されることを上げてあるが、おそらく収納率は低下するだろうと想像する。滞納ケースが2年間で20倍に増えたという自治体もあるので、滞納対策が後手後手にならないよう、先行して導入している自治体の情報を得ながら、滞納対策もよろしくお願いしたい。
- 田中教育部長 新給食センターが稼働するタイミングで導入できればよいと考える。この制度下であれば、市が給食費を徴収し、食材を調達し、給食センターに渡すことになるが、学校給食会と連携しながらできるとよいと思う。給食費の算定をするためには、誰が休みだったか、牛乳を飲まなかったかなど、学校

からその日の状況をもらって、システムに入力する必要がある。学校現場では、給食費の徴収の部分は負担軽減になると思う。給食費以外のPTA会費や修学旅行の積立金などの徴収金については、それぞれの学校で異なるため、それを市で徴収するというのは難しいと思う。別の業者に委託するなど、他の方法を検討し、学校の負担軽減をしていきたいと考える。

中教育長

数年前から資料の収集や検討をしているが、行政側から見るとあまりメリットはなく、二の足を踏むような状況であった。先々は導入しなければならないので、導入するためにはどのようにしたらよいかをしっかりと検討し準備をしたい。スピード感を持って取り組みたいと考えるが、2年ではかかると思う。新給食センターの稼働に間に合うように取り組んでいきたい。

<報告第17号> 令和6年度9月補正予算の概要について

松本教育部次長

9月定例市議会において議決されたものについて、資料により説明

- 学校教育訴訟関係事業
- 継続費の設定
(仮称) 新南部学校給食センター施設整備事業
- 公立学校施設災害復旧事業
- 社会教育施設災害復旧事業

丸山教育委員

災害復旧事業について、八代支援学校の北側斜面崩落はどの程度のものだろうか。子供たちへの影響はなかったか。

稲本教育部理事兼
教育施設課長

崩落個所の資料を配付。

令和6年8月29日から30日にかけての大雨によるものであるが、学校が被災したのではなく、子供たちへの影響はなかった。学校と隣接する斜面が急傾斜地(がけ地)になっており、がけ地の下に住宅が建っている。その部分について、崩落の危険性が高くなったため、補正予算を計上した。今回、計上した土砂撤去工事費用については、一時的に危険な部分を仮に撤去するものである。工事費用については、試算では2,000万円ほどであり、来年度の当初予算で計上する。

丸山教育委員

崩落部分は一部分であるが、住宅が4軒ほどある。同じような急傾斜地となっているのか。

稲本教育部理事兼

1軒だけが急傾斜地である。あとは緩やかな斜面なので、

教育施設課長 崩落があってもすぐに影響はないものである。

<報告第18号> 学習支援ソフトの今後の方向性について

松本教育政策課長 現在、当市では学習支援ソフトとして、スタディサプリとeライブラリを導入している。資料により説明

丸山教育委員 方向性は妥当なものだと思う。

スタディサプリの価格についてお尋ねしたい。現在528円であるが、今後は3,300円とずいぶん値上がりをする。それでも、定価よりは安価であるとのことであるが、6,000人という大人数で契約をするので単価も下がると思う。今後、不登校生徒の必要数契約となると、大幅に人数が減ると思うが、その場合でも3,300円で契約できるのか。

松本教育政策課長 倍額の6,600円になると聞いている。

渡邊教育委員 先生方のアンケートの中で気になったのが、利用していない理由で「授業に役立たない」との答えである。スタディサプリで29%、eライブラリで19%とある。使ってみてそう思われているのか不明であるが、役立たないと切り捨てるのは残念に思う。私は、役立てる自信がないと受け止めて数字を見た。その他がeライブラリで40%とあるが、どのような内容か把握されているだろうか。

松本教育政策課長 その他の中には、スタディサプリを使っているからeライブラリは使っていない、という回答もあった。統計的には、62人の先生方がスタディサプリしか使っていない。両方使っている先生は157人、eライブラリだけしか使っていない先生は125人である。

緒方教育政策課主幹兼ICT教育推進係長 アンケートに答えた先生の人数は、スタディサプリが328人、eライブラリが413人である。また、利用していない理由は、利用していないと回答された先生方に聞いたものである。特に目立ったのが、どちらかを使っているから使っていないという理由だった。他には、授業の中で必要な場面が作れていない、いろいろありすぎてどれを使っているかわからない、書くことに重点を置いているのでその他のツールは使わないという回答があった。

渡邊教育委員 情報化の優良校指定を受けている八代市であるので、先生方は忙しいと思うが、意識もスキルも高めてほしいと思う。以前も述べたことがあるが、スキルを高めるより意識を高め

るほうが難しいと思う。スキルについては、教育委員会にも学校にも素晴らしいスタッフがいらっしゃるの、上げることができていると思うが、意識を高めていくのはとても難しく、時間がかかる。高額な予算を使っているの、有効に活用できるようにしていけるとよいと思う。くま川教室ではスタディサプリののみを使っているが、eライブラリに少しずつ移行していこうと考えたところである。

澤村教育委員

教員の授業観の変革が一番大事だと思う。学校訪問で見ると、非常に上手にICTを活用されている授業も見受けられるが、そうでない授業が多い。自分の経験上考えてみても、自分たちの時代にICTがあったら授業の準備がだいぶ楽になったろうとか、子供たちの意見を集約するのも素早くでき、まんべんなく子供たちの意見を見ることができたろうと思うことが多々ある。いい時代になったという感想を持つが、使うのは大変かと思う。特に年齢が上がると、ICT機器を使うのが苦手ということもある。使いこなせたら授業が深まり、子供たちの興味関心も湧き、評価も蓄積され、計画的に確実にできると思う。個々の学習、学力の状況も把握できると思う。是非、このようなことが先生方に分かるような研修をしていただき、自分もやってみようと思われる先生が増えることを期待している。

早田教育委員

eライブラリについて、前は5年分の契約で一括払いがしてある。令和7年度以降の契約では約1,100万円となる見込みであるが、一括して支払うのだろうか。

松本教育政策課長

7年度以降は短いスパンでの契約を考えている。eライブラリ以外にもいろいろな学習支援ソフトがあり、他のソフトの良さもあると思う。複数年契約し、それだけに頼るのではなく、他のソフトも見ながら、より良いものを検討していきたい。複数年契約することで費用が抑えられるのであれば検討するが、5年契約ではなく、まずは短いスパンで契約をしたい。

早田教育委員

学習支援ソフトのドリルと紙のドリルがあり、我が家でも子供たちは忙しく、パソコンのドリルをしたり紙のドリルをしたり毎日の宿題に励んでいる。ソフトの利用頻度については、月に数回程度が60%程度となっており、日常的に使うというのにはほど遠いと感じた。紙と併用しているので、このような利用頻度になるのかと感じた。

最近、経済界の方で事業をされている方とお話しする機会があった。私は、進学校に行き、大学に行ったので、今、自分が個人事業主で事業をしていることは想像できなかった。

社会でうまくやっていくためには、たくさん勉強し、優秀な成績で大学に入ることだと思っていたが、社会に出てみると、全く違うということに気づいた。今までしてきたことが全く違うと思いながら、いろいろな経験を経て、今の仕事をしている。事業をされている経済界の方のお話を聞くと、昔は勉強ができるほうではなかったが、今自分がやりたいことを叶えるために、勉強をし、学び、行動しているということを知った。自分がやりたいことを叶えるための必要性を感じることによって意識を高め、学ぶことに繋がるのではないかと感じている。問題をたくさん解き、学力を上げることだけが子供たちの将来のためになるのだろうか、自分の歩んできたことを考えると疑問に思うところである。子供たちはたくさん勉強をしているが、将来社会に出て、人の役に立つ仕事ができるだろうか、未来に希望を持つことができるだろうかと思いつつながら子育てをしている。スタディサプリを個人で契約すると費用が高いと思うが、やりたい人は個人で契約をするというのではないかと考える。公的なところが高い費用を負担する必要はないと思う。7年度以降の方針として、スタディサプリは不登校対策として必要数を契約するということが、うちの子はあまり学校に行かないけど、スタディサプリができるから、学校に行かなくていいんじゃないという家庭が出てこないかと懸念する。単に不登校対策で使用するのではなく、くま川教室など、先生たちの目があるところで使用するなどの検討をする必要があるのではないかと思います。

田中教育部長

内部で検討する中で、早田委員と同じような意見があった。スタディサプリは、不登校生はできて他の子供たちはできないというのは不公平ではないかという意見もあった。高い費用を市が負担するので、不登校生は無料でスタディサプリが利用できると思われると困る。

早田教育委員

スタディサプリはネームバリューがあるので、数年前に八代市がスタディサプリを導入した際に、ある学校で、スタディサプリは使っているか聞いたところ、八代市ではスタディサプリが無料で使えるのかとざわついたことがあった。

田中教育部長

不公平感を感じるご家庭もあるかもしれない。今まで使ってきたから使いたいと思うご家庭もあるかもしれないので、慎重に検討したい。

渡邊教育委員

スタディサプリを不登校対策として活用するのは大変よいことだと思うが、必要数はどのようにして把握するのか。大変な作業ではないか。

加賀学校教育課長 指導要領上の出席扱いにする子供は、ICTを活用してという要件があるので、スタディサプリを活用することで学びの保障をしたいと考える。どこで学ぶかより、何を学ぶかであるので、これまでの学びに繋がったことは継続したい。人との関わるのが苦手という子供に対しては、動画が長けた部分があるので、提示していきたいと考える。

中教育長 今後の方針が、eライブラリを使用すること、スタディサプリは不登校対策として使用することというところで止まっている。これは学習支援ソフト導入の方針かもしれないが、八代市の学力充実のための対策としてはあまりにも寂しいと思う。今後、財政課への予算要求や、議会で説明するにはとても不足している。こういう形にして、子供たちの学力充実のためにどう使っていくのかを学校現場にも説明できるような形に作り上げてほしい。7年度から導入するのであれば、6年度中に早い段階で学校に説明をしないと学校は準備できないので、eライブラリを使ってどのように学力充実に取り組んでいくのか、早めに説明できるようにしてほしい。これまでのようにただ単に使ってくれと言っているだけではいけない。3年間程検証をしたのだから、それを踏まえて、こういう使い方をすると効果があるからこのような形になったということを説明する必要がある。教育委員会として学校現場の意識を高めていくためには、教育委員会が示さないと、ただ頑張れと言われても学校現場はできないと思う。

予算について、2つあるものを1つにするから予算が付くだろうという安易な考えではいけない。副市長は、担当課が熱意を持って根拠や数字をきちんと説明できないものについては、予算を付けなくていいと庁議の場で言われている。どのように使うことでどのような効果が見込まれるかを説明できないと、1つも予算が付かない可能性もある。EdTeckやGIGAスクールで多くの予算を使っているが、学力向上の効果はあったのかということを言われているので、これをやることで学力向上に繋げていきますということが説明できるようにしておいてほしい。

資料について、数字は精査されているだろうか。先生を対象としたアンケートは1年前のものだが大丈夫だろうか。1年前に把握しているのであれば、もう少し早く対策ができたのではないかということにはならないか。最新の状況を聞かれたときに答えられるだろうか。緊張感を持って、議会や予算要求に臨んでほしい。

4. 連絡事項

教育政策課 (仮称) 新南部学校給食センター整備事業者募集 (10/11～12/26)

学校教育課	市中体連駅伝競走大会結果、県大会（11/4） 小中一貫連携教育実践校発表会（11/5 14：00 東陽小） 幼稚園再編関係、地域への説明等の進捗状況 ストレスチェックの実施について
生涯学習課	岸信子氏講演会（11/8） 二十歳の集い第5回実行委員会（11/29） 第75回全国人権同和教育研究大会（11/30～ 12/1）
教育サポートセンター	科学発明工夫展（10/5・6） くま川教室キャンプ（10/24～25 八竜天文台）
博物館	出張講座（11/9 八代市立図書館、11/16 坂本コ ミュニティーセンター）
未来の学校づくり推進室	第3回再編等審議会（11/12）
事務局	総合教育会議（11/22 13：30～15：00） 11月定例会日程確認（11/22 15：30～） 行政視察について

5. 会議録署名委員の指名 早田委員・澤村委員

6. 閉会 (午後3時45分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
